# 目　次


ヤヤホの取り付け手順
設置場所の確認

1 ワイヤー
固定金具の取り付け方
ワイヤーの張り方

2 トランス
壁用トランスの取り付け方
天井用トランスの取り付け方

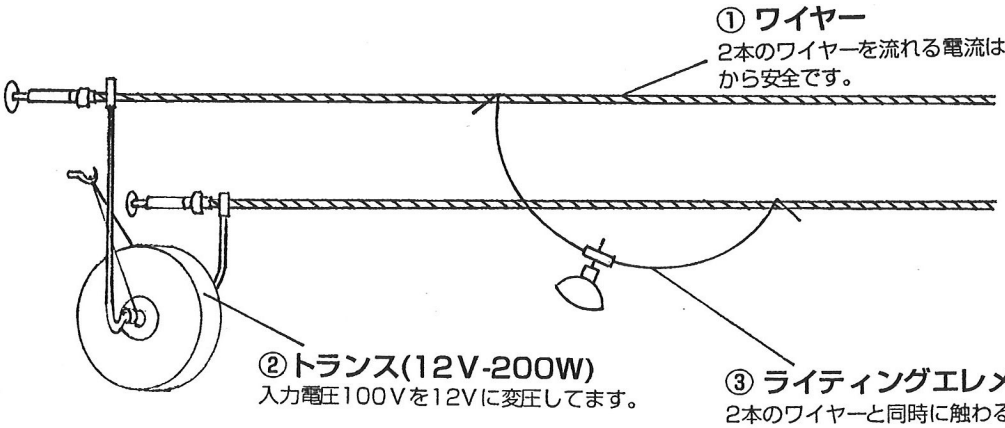
ワイヤーの張り方バリエーション
長張り
斜め張り
天井張り

3 ライティングエレメント
取り付ける前に
ライティングエレメントの取り付け方
ライティングエレメント取り扱いのご注意
ハロゲンランプの交換方法

故障かな？と思ったら
ヒューズの交換の仕方
お手入れとメンテナンス
YaYaHo Aha So So!...???


## ヤヤホの取り付け手順

ヤヤホは〈ワイヤー〉〈トランス〉〈ライティングエレメント〉の3つの部分で構成されています。
取り付けは、この順番に組み立てていきます。以下、各部に分け詳しく説明します。




〈注〉金属物(工具、ハサミ等)で、左右のワイヤーに同時に触れないでください。ショートの原因になります。

〈注〉金属物のアクセサリーなどをワイヤー及びエレメントに掛けないでください。ショートの原因になります。

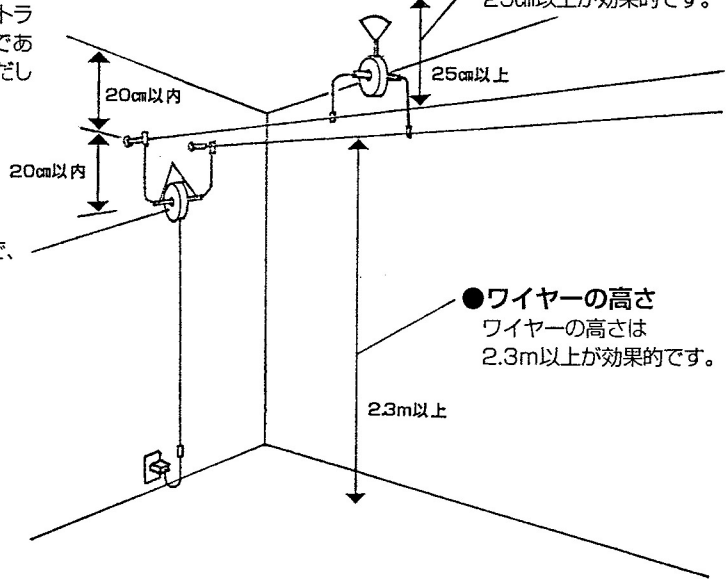
# 設置場所の確認

## 天井との位置

天井の高さがワイヤーより3m以上の場合、トランスは壁のみの設置となります。3m以内であれば壁、天井どちらでも設置できます。(ただし天井に配線が通っている場合のみ)

**●トランスの壁付け**
トランスの位置は2本のワイヤーの真ん中で、上下20cm以内が効果的です。

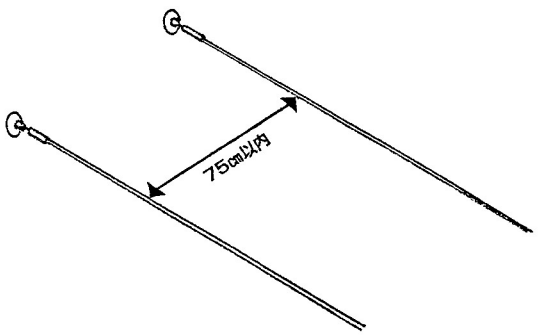
**●ワイヤーと天井の距離**
ワイヤーと天井の距離は25cm以上が効果的です。




**●ワイヤーの高さ**
ワイヤーの高さは2.3m以上が効果的です。

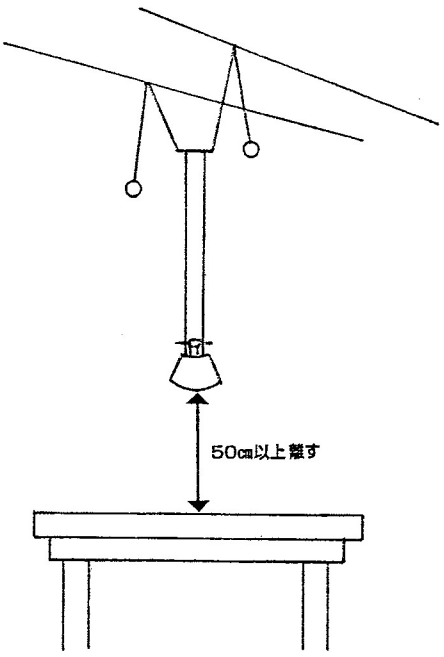
## ワイヤーの間隔

2本のワイヤーの幅は75cm以内で設定されています。




## ライティングエレメント

可燃物はハロゲンライトから、50cm以上離してください。




## 設置する壁の材質、強度

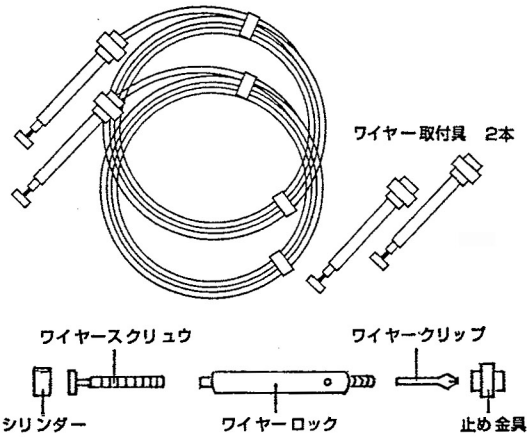
ワイヤーを取り付ける壁、天井の強度の補強が必要な場合、事前の工事が必要です。また壁が電導性の材質(スチール、ブリキ、パンチメタル等)の場合でも、ワイヤー固定金具についている「ワイヤースクリュー」が絶縁になっていますので絶縁処理する必要はありません。

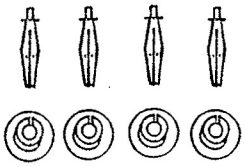
〈注〉セッコウボードには取付けできません。(落下してけがのおそれがあります)

〈注〉ランプシェードに可燃物をかぶせたり、近付けたりの使用はやめて下さい。(火災のおそれがあります)

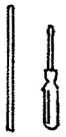
# 1 ワイヤー

**部品名**　ワイヤー2本セット(片側にワイヤー取付具のついたもの)2本



固定金具　4個
S8プラグ4個(ドリル径8㎜)
木ネジ(4.5×50㎜)　4本

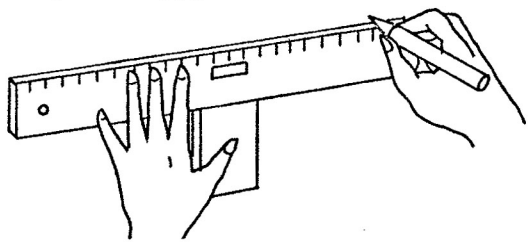


ドライバー　1本
スチールピン　1本

## 固定金具の取り付け方　セッコウボードには取り付けできません。

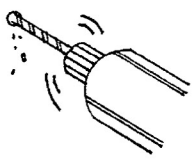
### ① 壁に印をつける

ワイヤーを張りたい場所にスミ出しスケールで印をつけます。(ワイヤーの間隔は、MAX750㎜)



### ② ドリルで穴をあける
**(印の上に穴をあけます。)**

下地に適したネジを選び、ネジの径にあったドリル径で穴をあけてください。

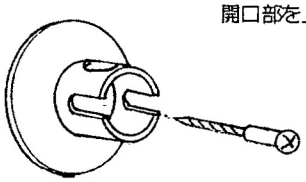


※壁の下地がコンクリートの場合。付属のプラグを使用する場合、ドリル径8　で穴をあけてプラグを奥まで埋め込んでください

### ③ 固定金具をネジでとめる
**(壁の下地が木の場合は、木ネジのみで固定)**

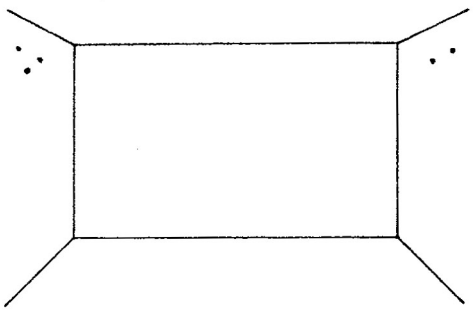
固定金具の開口部を上にし固定させ、ネジで締めます。

開口部を上にする



### ④反対側の壁に固定金具をつける
**(壁付トランスの場合)**

同じ要領で固定金具をつけます。トランス用の穴は、片方の壁のワイヤーとワイヤーの真ん中に穴を開けます。



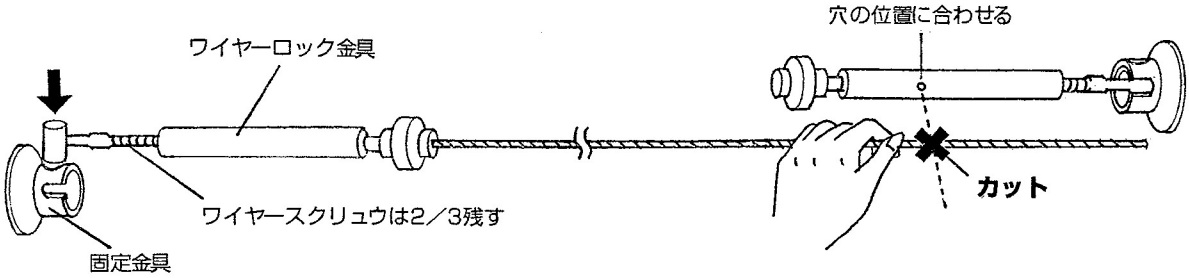
〈注〉●ワイヤーの強度を保つため、下地のしっかりしたところに必ずネジを水平に打ちこんで下さい。
●プラグ、ネジは壁の状態に適したものを使用して下さい。指定したとうり取付されないと落下の原因になります。

Ya Ya Ho

# ワイヤーの張り方

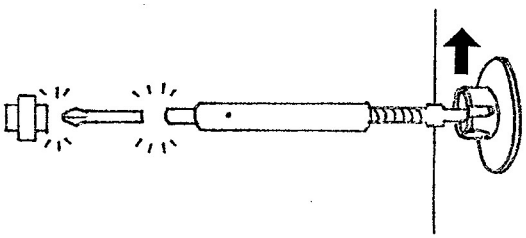
### ①ワイヤーを適した長さにカットする

ワイヤーとつながっているワイヤーロック金具にシリンダーを通したワイヤスクリューを入れ、シリンダーを固定金具の穴に上から差し込みます。反対側の固定金具にもシリンダーまでセットされたワイヤーロック金具を穴の上から差し込み、ワイヤーをピンとたるみなく手で引っ張り穴の位置でカットします。



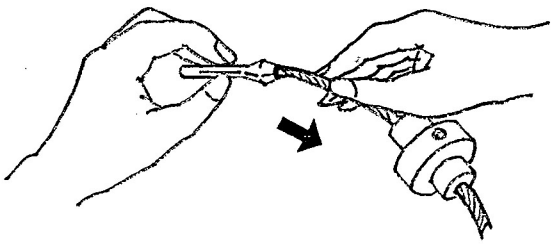

### ②ワイヤー取付具を分解する(①の右側)

いったん固定金具からワイヤーロック金具、止め金具を外しワイヤークリップを引きだしてください。



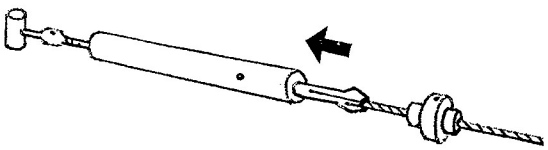
### ③止め金具にワイヤーを通す

はずした止め金具の穴に、カットしたワイヤーを通します。ワイヤークリップにもワイヤーを奥まで差し込みます。



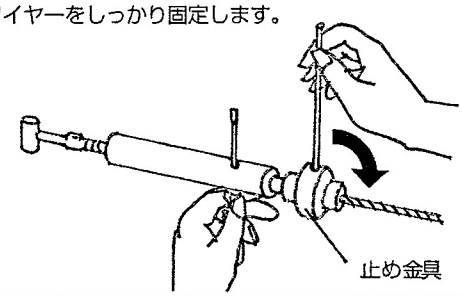
### ④ワイヤーロックに差し込む

**③のものをワイヤーロックに差し込みます**



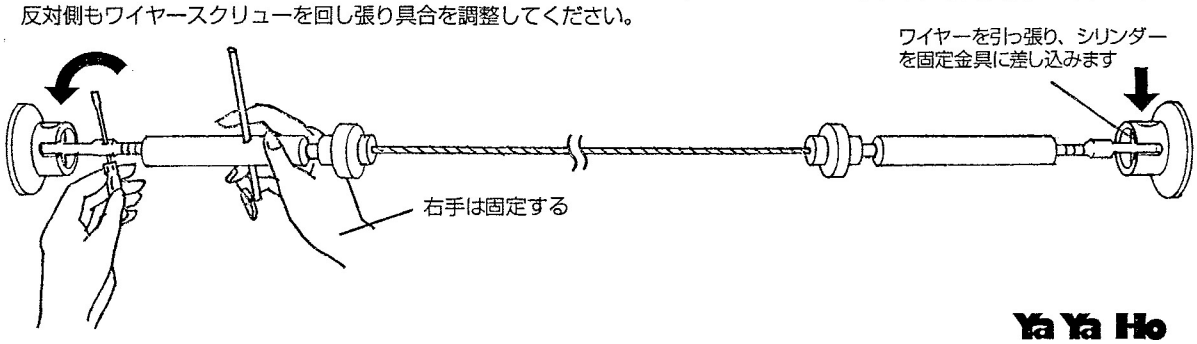
### ⑤ワイヤーをしっかり固定する。

付属のドライバーをワイヤーロックの穴に通します。スチールピンは止め金具の溝に差し込み、時計回りにまわし、ワイヤーをしっかり固定します。




### ⑥ワイヤースクリューを回してワイヤーをたるみなく水平に張る。

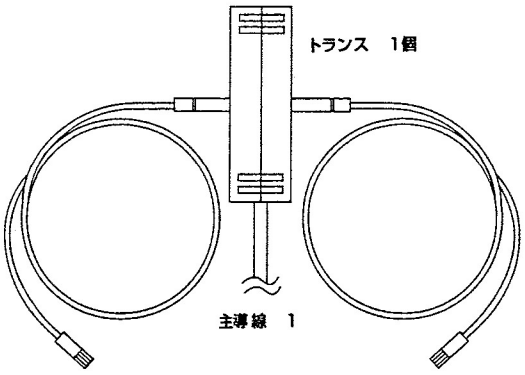
スチールピンをワイヤーロックの穴に差し込みます。ドライバーはワイヤースクリューの穴に入れ反時計回りに回します。反対側もワイヤースクリューを回し張り具合を調整してください。

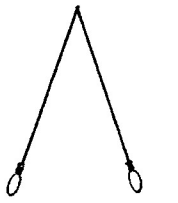


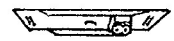

Ya Ya Ho

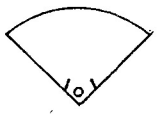
# 2 トランス

## 部品名

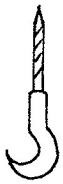




吊り下げワイヤー　1本


シーリングプレート　1個


シーリングキャップ　1個

S8プラグ　1個
(下地コンクリートの場合使用)

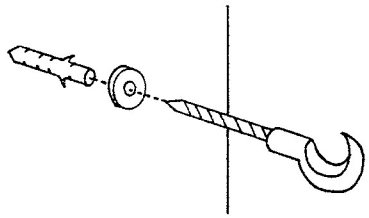

ニッケルメッキのフック　1個

ワッシャー

## 壁用トランスの取り付け方　セッコウボードには取り付けできません。

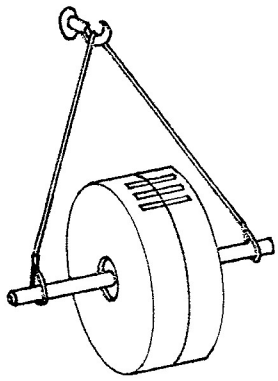
### ① フックをねじ込む

先にあけておいた穴にプラググを差し込みます。ワッシャーをはさんだまま、フックをねじ込みます。必ずフックの開いている方を上にして下さい。(壁が木下地の場合プラグは不用です)



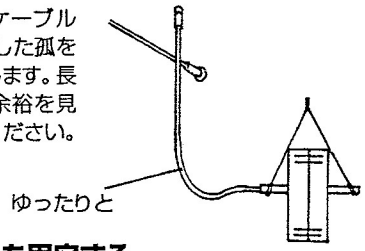
### ② 吊り下げワイヤーを通し、フックに引っ掛ける

吊り下げワイヤーの赤い輪をトランスのスチール棒に通し、トランスをフックに引っ掛けます。



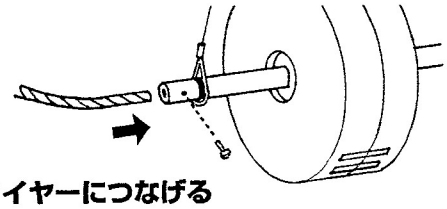
### ③ ケーブルの長さを決める

トランスの副ケーブルが、ゆったりとした孤を描ける長さにします。長すぎる場合は余裕を見て、カットしてください。



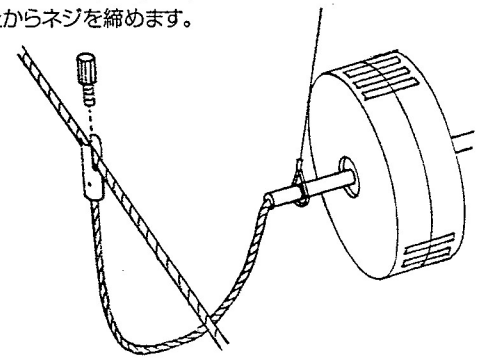

### ④ ケーブルを固定する

カットしたケーブルの先端をトランスのスチールに奥まで入れ、上からマイナスピンで締めつけます。



### ⑤ ワイヤーにつなげる

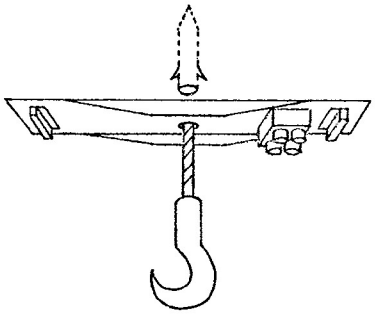
ケーブルのネジをいったんはずし、ワイヤーを挟んでから、上からネジを締めます。



# 天井用トランスの取り付け方 セッコウボードには取り付けできません。

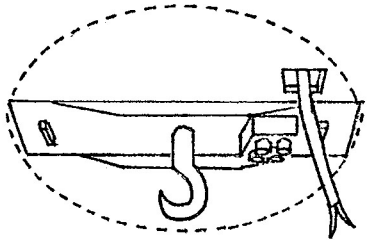
### ① フックをねじ込む

2本のワイヤーの中間にプラグ用の穴を開けます。プラグを差し込み、シーリングプレートを挟んだまま、フックをねじ込みます。（天井材が木下地の場合プラグは不用です）



### ② コード用の穴を開ける。

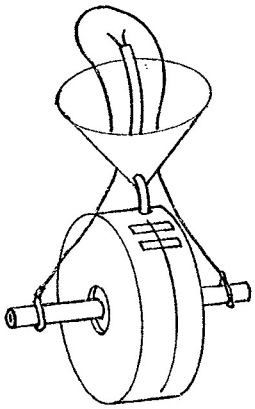
フックの穴を中心にした直径15㎝以内に天井の電気コードを引き出す穴を開け、コードの先を出しておきます。



### ③ ワイヤーをキャップに通し、主ケーブルを穴に通す

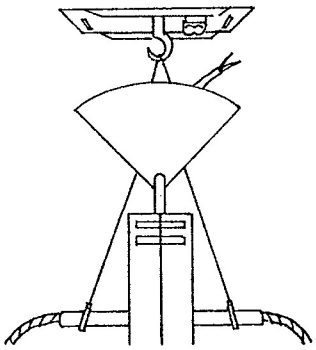
吊り下げワイヤーの赤い輪をトランスの軸の溝に掛け、シーリングキャップの先にある切り込みに通します。
トランスの上部にある主ケーブルをシーリングキャップの穴を通します

**シーリングキャップを使う場合**



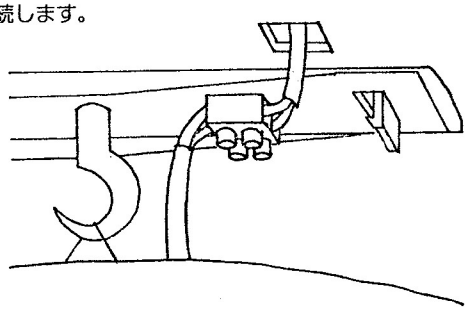
### ④ ワイヤーをフックに掛ける

通しておいた吊り下げワイヤーをフックに引っ掛けます



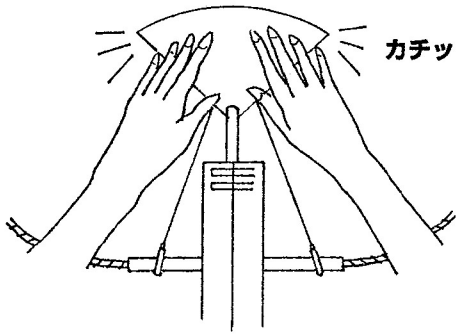
### ⑤ 天井のコードとトランスのケーブルをつなげる

天井からのコード、とトランスのケーブルをターミナルで接続します。

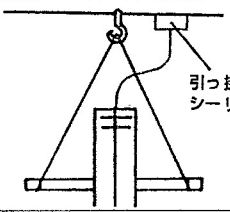


### ⑥ プレートとキャップをかみ合わせる

シーリングキャップのツメとシーリングプレートのツメを合わせ片方づつ"カチッ"となる様にかみ合わせます

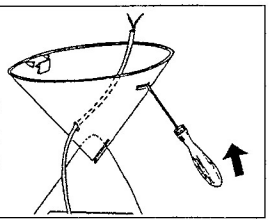



**シーリングキャップを使わない場合**




**シーリングキャップの外し方**

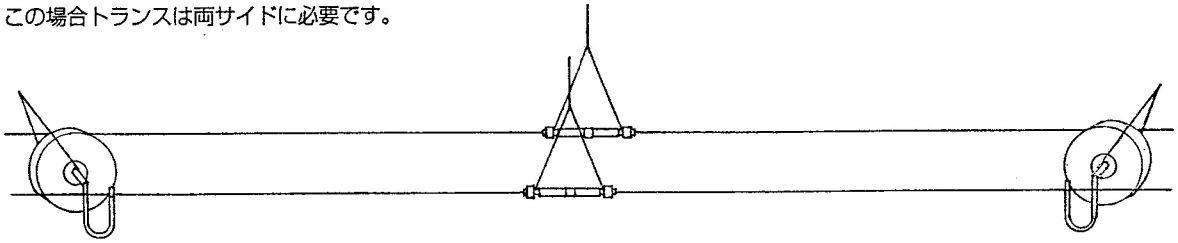
ドライバーをシーリングキャップの2つの切り込みにそれぞれに差し込み、横から静かに押すと外れます



# ワイヤーの張り方バリエーション

## 長張り

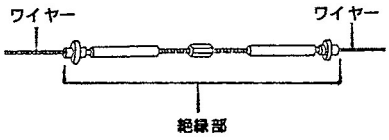
規定のワイヤーでは長さが足りない場合は絶縁部を取り付け別々の2本のワイヤーをつなげます。
この場合トランスは両サイドに必要です。



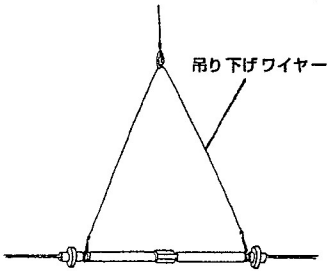
①絶縁部を吊るすフックの位置を決めます。
②6ミリのドリルで天井に穴を開け、プラグを差し込みフックをしめます。(木下地の場合はプラグ不用)
③吊り下げワイヤーを調節用ワイヤーの締め具をフックの方へ引き上げながら調節します。
④調節用ワイヤーを望みの長さにし、締め具のネギを締めます。締め具から飛び出している余分な調節用ワイヤーをペンチで切ってください。

②

③



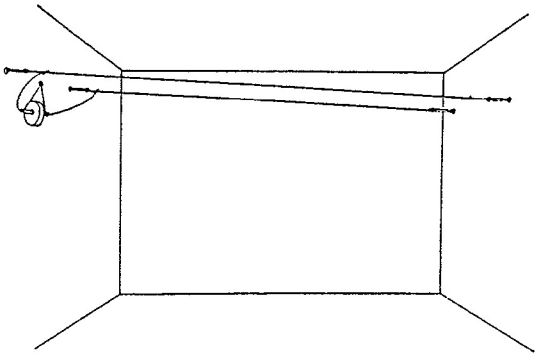

④

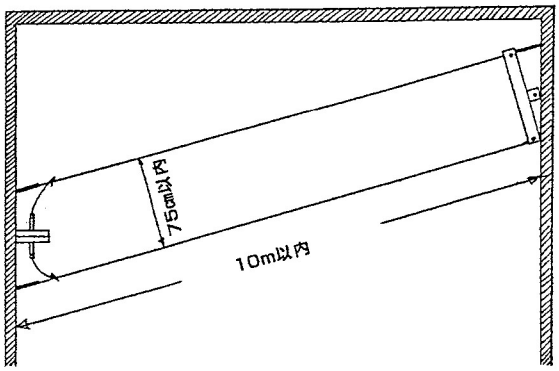



## 斜め張り

### 対面の壁の場合

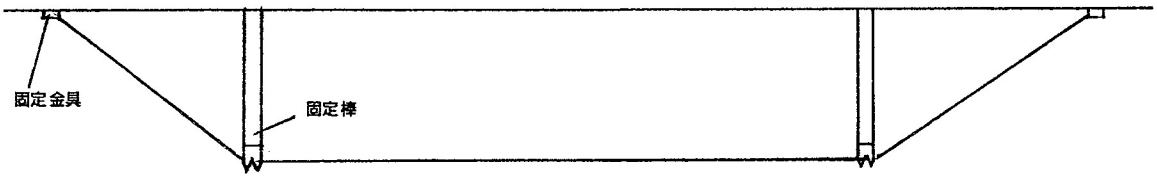
2本ワイヤーの内1本のワイヤーの取り付け位置を決め、ワイヤーを張ります。このワイヤーをもう1本のワイヤーのガイドにし、2本のワイヤーの間隔を75　以内にきめ、スミ出しスケールの目盛りを使って、正確な間隔にします。





# 天井張り

ワイヤーを天井に取り付ける場合は、固定棒、固定金具を使います。



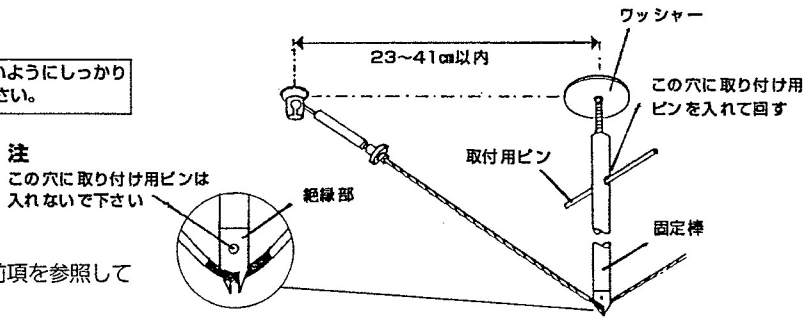

## 固定棒の取り付け

①8㎜のドリルで、4㎝以上の深さの穴を天井に対して垂直に開けます。
②開けた穴にプラグを差し込み、ワッシャーを入れ、取付用ピンで固定棒を締めます。
（この時固定棒の先端の切れ込みが、ワイヤーを張る方向と同じになるようにします。同じになっていないとワイヤーを破損する恐れがあります）

〈注〉固定棒はワイヤーを張ったときに外れないようにしっかりと天井に固定し、正確に垂直に取り付けてください。

## 固定金具の取り付け

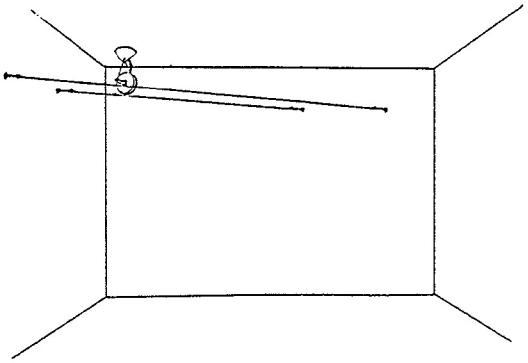
①固定金具は固定棒から23～41㎝以内に取り付けます。
②ワイヤーを張る前に、赤い絶縁チューブをワイヤーに通してください。
（この時絶縁チューブが固定棒の先端の切れ込み部分にきちんと収まるようにしてください）

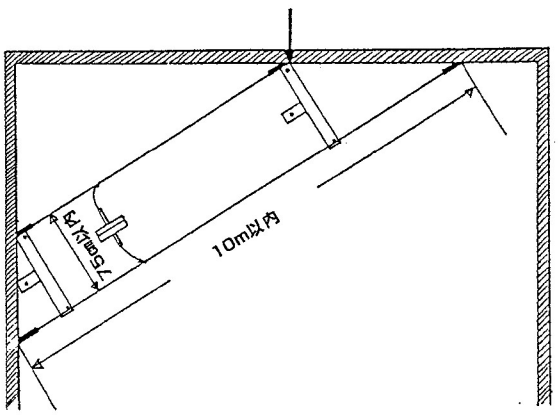



※ワイヤーの詳しい張り方、取付方は前項を参照してください。

## 側面の壁の場合

2本のワイヤーの内側になるワイヤーから先に張ります。スミ出しスケールをワイヤーに直角に当て外側のワイヤーとの間隔を75　以内に決め、決めた間隔になるようにワイヤーを水平に張ります。





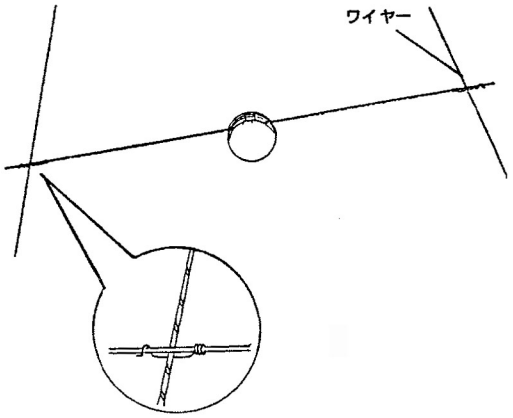
# 3 ライティングエレメント

## 取り付ける前に

●電源は切っておく
●ハロゲンランプは素手で触らない
●金属物(はさみ、工具等)でプラスとマイナスの両極を同時に触れない

## ライティングエレメントの取り付け方

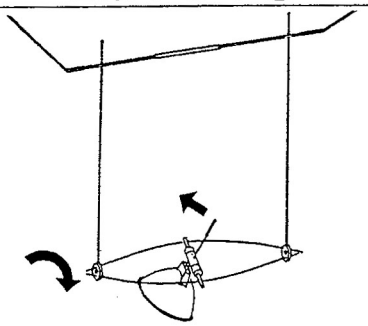
### エレメント①




●乳白ガラス
グローブのシェード
●20Wハロゲンランプ
口金G4
●セーフティークリップ2個
●赤い絶縁チューブ付

①金属棒の絶縁していない部分が触れるようにワイヤーに乗せます。
②セーフティークリップでワイヤーに固定する。

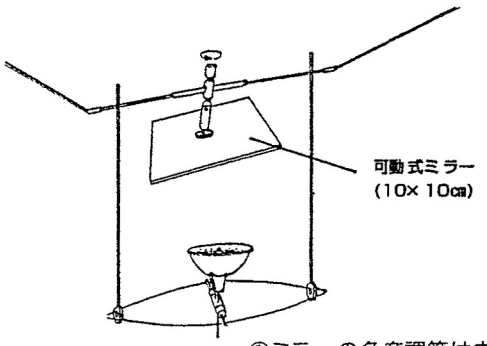
### エレメント②



●メタル製
●50Wダイクロイックハロゲンランプ口金G5.3(20W、35Wも選べます)
●130㎝のオモリ付ワイヤー2本
●ハロゲンランプ固定用スプリングホルダー付

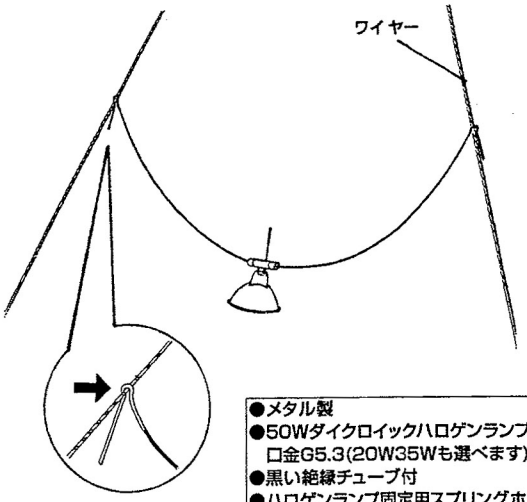
①オモリ付ワイヤーを張り渡したワイヤーに掛けます。
②あかりの方向を調整します。この際赤く印の付いているピンを持って回します。

### エレメント②／ミラー付




①ミラーの角度調節はネジを緩めて希望の向きに動かし、再びネジを緩めて下さい。

### エレメント③



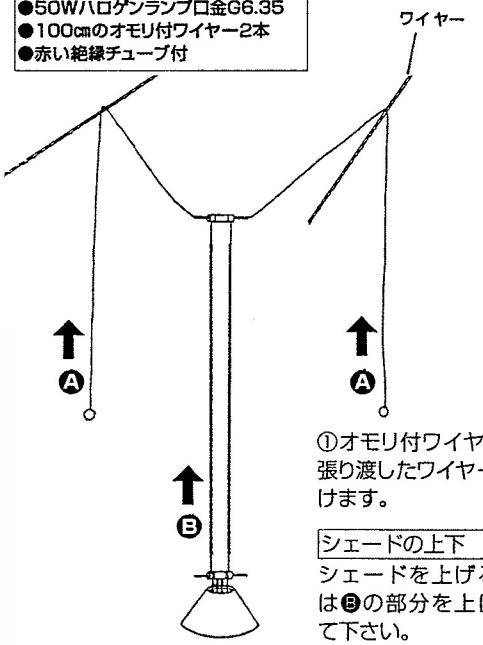

●メタル製
●50Wダイクロイックハロゲンランプ口金G5.3(20W35Wも選べます)
●黒い絶縁チューブ付
●ハロゲンランプ固定用スプリングホルダー付

①エレメント③をワイヤーに掛けます。
②ワイヤーにかかるつけ根の部分を強く押し付け止め金の凹部にしっかりと収まるようにする。

シェード(部品F)を用いる事もできます。
シェードの取り付け方はエレメント⑥と同様に

## エレメント④

●陶器製のシェード
●50Wハロゲンランプ口金G6.35
●100㎝のオモリ付ワイヤー2本
●赤い絶縁チューブ付




①オモリ付ワイヤーを、張り渡したワイヤーに掛けます。

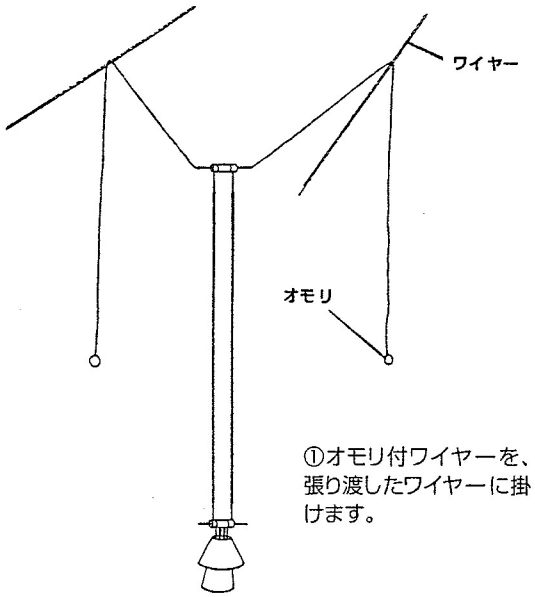
シェードの上下

シェードを上げる場合はⒷの部分を上に上げて下さい。
シェードを下げる場合はⒶの部分を上に上げて下さい。

**注意!!** エレメントの上下は、下方向に引っ張らないで下さい。

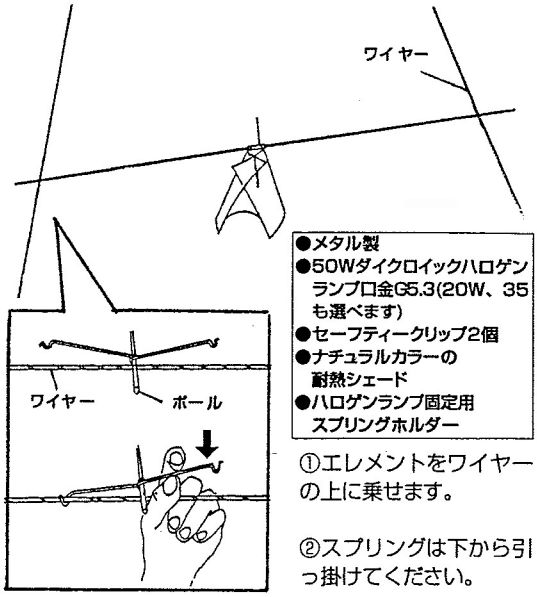
## エレメント⑤

●陶器製のダブルシェード
●50Wハロゲンランプ口金G6.35
●100　のオモリ付ワイヤー2本
●青い絶縁チューブ付




①オモリ付ワイヤーを、張り渡したワイヤーに掛けます。

## エレメント⑥

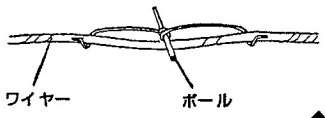



●メタル製
●50Wダイクロイックハロゲンランプ口金G5.3(20W、35も選べます)
●セーフティークリップ2個
●ナチュラルカラーの耐熱シェード
●ハロゲンランプ固定用スプリングホルダー

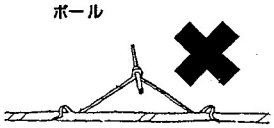
①エレメントをワイヤーの上に乗せます。

②スプリングは下から引っ掛けてください。

**注意!!** ボールがワイヤーにしっかりあたるように固定してください。

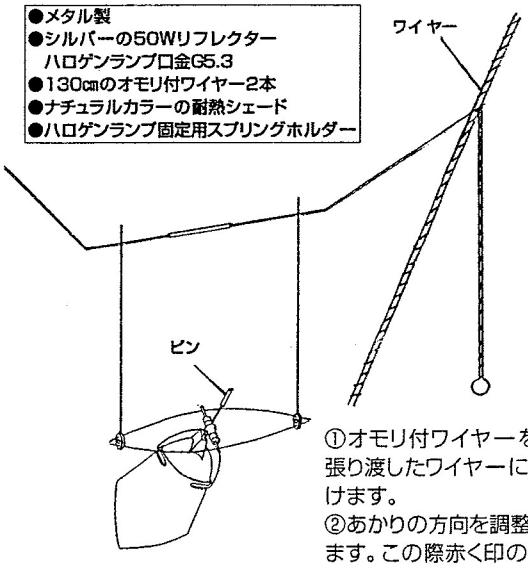



この取付方法は**危険**です。点灯不良や落下の原因になります。



## エレメント⑦

●メタル製
●シルバーの50Wリフレクターハロゲンランプ口金G5.3
●130㎝のオモリ付ワイヤー2本
●ナチュラルカラーの耐熱シェード
●ハロゲンランプ固定用スプリングホルダー




①オモリ付ワイヤーを、張り渡したワイヤーに掛けます。
②あかりの方向を調整します。この際赤く印の付いているピンを持って回します。

| | 取り扱いに注意すること | | | ハロゲンランプの交換 |
|---|---|---|---|---|
| | ①<br>オモリ付ワイヤーの接触 | ②<br>セーフティークリップで固定 | ③<br>赤いピンを持って回転 | |
| エレメント① | | ● | | A |
| エレメント② | ● | | ● | B |
| エレメント②ミラー | ● | | ● | B |
| エレメント③ | | | ● | B |
| エレメント④ | ● | | | C |
| エレメント⑤ | ● | | | C |
| エレメント⑥ | | ● | ● | B |
| エレメント⑦ | ● | | ● | B |

## ライティングエレメントの取り扱いのご注意

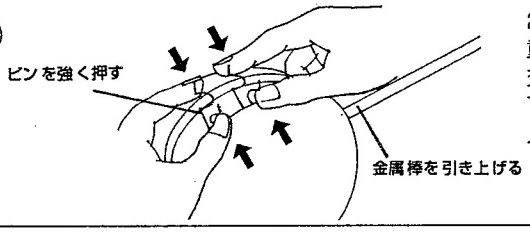
① オモリ付ワイヤーが相互に、あるいはライティングエレメントの一部と接触することは絶対に避けて下さい。
ショートします。(ヒューズが飛びます。)

② セーフティークリップで固定ブロイヤーに固定します。
エレメントを移動のつどセーフティークリップを外し、また固定して下さい。

③ リフレクターは回転させる事が可能ですが、回転させる際は必ず赤く印の付いているピンを持って回して下さい。

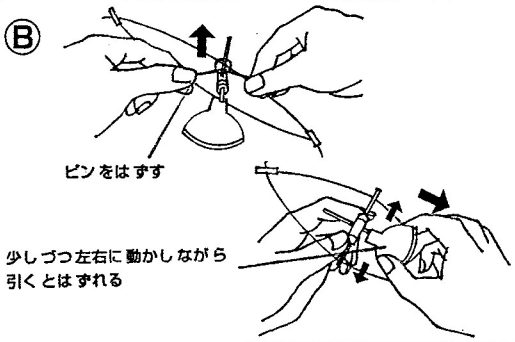
## ハロゲンランプの交換方法

Ⓐ



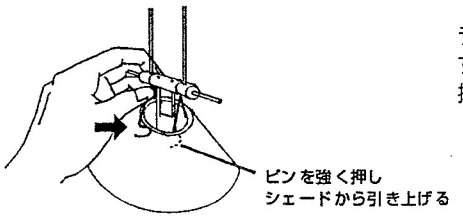

2つのメタルクリップを同時につまみ、乳白色ガラスローブを慎重に外します。古いランプをソケットから取り外し新しいランプに交換します。ランプがソケットにしっかり収まっているか確認して下さい。再びソケット部分をグローブの切れ込みの中へ慎重に入れメタルクリップで止めます。

Ⓑ




ハロゲンランプ固定用スプリングホルダーを外し、ソケットの端の部分を持ってハロゲンランプを取り外し新しいハロゲンランプに交換します。その際ハロゲンランプをしっかりと手で押さえ、軽く左右に動かしながら無理なくソケットにハロゲンランプの2つの芯を入れるようにして下さい。ハロゲンランプを触る時には内側のコーティングされている部分に触れないように注意して下さい。交換後、再びスプリングホルダーでハロゲンランプを固定します。スプリングホルダーはハロゲンランプの縁を押さえるように取り付けて下さい。

Ⓒ




ライティングエレメントをソケットのところでしっかりと押さえます。古いランプをソケットから抜き、新しいランプを差し込みます。接触が確実に保たれるように注意して下さい。

〈注〉点灯中や消灯直後のハロゲンランプには触れないでください。やけどする恐れがあります。

# 故障かな？と思ったら

**システムのスイッチを入れても点灯しない時には、次の点をチェックして下さい。**

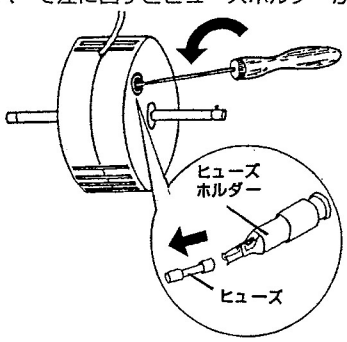
| | |
|---|---|
| トランスのヒューズは飛んでいないか | ヒューズが切れた場合、新しいものに交換して下さい。(インラッシュタイプの4A)<br>※ただし、トランスは過熱したり、過負荷になった場合、自動的にスイッチが切れる「過熱保護装置」が組み込まれています。温度が一定以下に下がると自動的にスイッチがオンになります。 |
| ライティングエレメントのW合計が200W以下か | 定格容量200W越えてる場合ヒューズが飛びます。越えている時は200Wまで下げて下さい。 |
| ローボルトケーブルが正しく接続されているか | トランス横軸のネジの締め方、ケーブルクリップの固定 |
| ライティングエレメントが正しく取り付けられているか | 本説明書10～12Pと照らし合わせ、確認して下さい。 |
| 全てのハロゲンランプがソケットにきちんと収まっているか | 収まっていない時はきちんと収め直して下さい。 |
| 機器に接触不良が起こっていないか | 接触不良が起こった部品を交換しなければなりません。どこの部分か確認して下さい。 |

## ヒューズが切れる原因

- オモリ付ワイヤーエレメントのオモリどうし、あるいはオモリとライティングエレメントの一部と接触した場合…
- 定格容量が200W越えている場合…
- 指定以外の調光器を使用した場合トランスにラッシュ電流がながれヒューズの飛ぶ原因になります。
- 調光器を使用する場合、マッチングの問題がありますので必ず輸入元にご相談ください。

## ヒューズの交換の仕方

マイナスドライバーで左に回すとヒューズホルダーが外れます。




## お手入れとメンテナンス

### トランスとシーリングキャップ

水か中性洗剤で湿らせた布で拭いて下さい。
クレンザーは絶対に使用しないで下さい。

### ワイヤー及びライティングエレメントのワイヤー

軽く水で湿らせた布で定期的に埃や油汚れなどを取り払います。汚れたワイヤーは電流の流れをそこなうことがあります。

〈注〉お手入れは、電流を切ってから、行って下さい。電球には触れぬよう注意して下さい。

<お願い>
- ライティングエレメントは指定トランス、ワイヤー等と使用することにより技術的安全性が保証されます。
- エレメントの加工、指定外トランス、ワイヤー等の使用、または不適切な取り付けによって生じた故障、事故に関しては弊社は責任を負いません。
- エレメント加工をご希望の際には必ず事前にお問い合わせください。